第１回学校運営協議会で出された意見をベースに取り組むことができること（案）

令和６年６月５日　　南地区学校運営協議会事務局

１　地区内で取り組むこととしたテーマ

（１）　児童生徒の学力の確実な定着

（２）　児童生徒の読書活動の推進

２　協議の中で出された声

（１）　本に親しんでいない子どもにも、本を手に取る機会・場を提供できればよい

（２）　保護者以外にも地区の子どもに関わってくれる地域住民はいるのではないか

（３）　読み聞かせや、授業の中での○付けも 行ってくれる地域住民はいるのではないか

３　考えられる内容 その１

|  |
| --- |
| （１） 内容  夏季休業中に各校の図書室を開放する  ※ 普段は休み時間に体育館に遊びに行く子どもが、本を手に取る時間をつくる  （２） 期間  ８月５日（月）～8月９日（金）　１３：００～１５：００  （３） 管理する人  南地区の中でボランティアを募る（地域住民・保護者・帰省中の学生）  （４）　公募手段  学校HP、学校便り、町内会の回覧板、地区内の各種会議での呼びかけ、新聞  （５） 応募先  南地区地域コーディネーター（南小学校在籍）  （６） 管理人の配置調整  地域コーディネーターが行う  （７） その他  管理人が子どもに対して「読み聞かせ」を1日１～２回行ってくれればなおよい  市図書館から図書をこの事業用に貸し出してもらい、開放期間中、配置する  （目玉とする）  （８） ルール  ① 南小学校については自転車での来校を可とする  ② 幼児（弟妹）や親せきの子どもと一緒に来る場合は保護者同伴を条件とする  ③ 図書室以外での活動は認めない  （９） 必要なこと  ① 図書協力員の役割との区別  ② ボランティア保険をかけること  ※ 費用弁償については今年度は出所がない |

４　考えられる内容　その２

○　地域の「読み聞かせ実施団体」に、地域コーディネーターを通じて学校内での読み聞かせを打診する　　※ すでに地域コーディネーターが動いている

５　考えられる内容　その３

|  |
| --- |
| （１） 内容  地域住民による小学校の授業の中での学習指導・支援  　　※ 中学校の授業は地域住民にとってはハードルが高いと思われる  （２） 対象とする授業  ① 市支援員が配置されていない港小１年・２年算数科  ② 市支援員が配置されているが、学級児童数が３５名近くの南小２年１組・２組算数科  （３） 学習支援ボランティアとして想定する方  南地区の地域住民、長期休業中に帰省している学生  ※ これらの応募がなければ保護者から募る  （４） 公募手段  学校HP、学校便り、町内会の回覧板、地区内の各種会議での呼びかけ、新聞  （５） 応募先  南地区地域コーディネーター（南小学校在籍）  （６） 学習支援ボランティアの配置調整  地域コーディネーターが行う  （７） 必要なこと  ボランティア保険をかけること  ※ 費用弁償については今年度は出所がない |